



特集

多くの感謝を胸に、二十歳の門出 — 353 人が大人の仲間入り「松浦市成人式」 —

平成 25 年松浦市成人式を 1 月 4 日、文化会館で開催しました。

この日、市内で新成人となったのは 353 人（男性 209 人、女性 144 人）。友人や恩師との再会を喜びながらも成人としての自覚を新たにしました。

式典は、益本英治さん（調川・松山田）と林美香さん（今福・人柱）の司会で進められました。友広市長は「これまで育ててこられた両親、家族などへの感謝と、ふるさとを愛する気持ちを忘れることなく、それぞれの夢の実現に向けて精進してください」と式辞を述べ、新成人にエールを送りました。続いて新成人を代表して松瀬携さん（鷹島・石川）と山本真紀さん（御厨・郭公尾）が二十歳の抱負を力強く述べ、津崎祐希さん（星鹿・大石）が交通安全宣誓を行いました。





松瀬 携さん

成人の日を迎えられるのは、今まで育ててくれた両親、多くの思い出を共にした友人、私たちの成長に携わっていただいた皆さんのおかげだと思い、心から感謝しています。

これから成人としての第一歩を踏み出します。社会人としては未熟者ですが大人としての自覚をもち責任ある社会人として歩いていくことをここに誓います。

昨年は、後輩である松浦高校陸上競技部が、長年の夢であった全国高校駅伝競走大会に初出場し、地域に大きな活気を与えてくれました。

私自身は高校時代のけがをきっかけに、現在は理学療法士を目指して勉強に励んでいます。今後は、病院での実習や国家試験と大きなヤマ場を迎えることとなりますが、自分の夢に向かって頑張っていきます。

これからは、一人の大人として社会で生きていかなければなりません。ふるさと松浦を誇りに持ち、ここで申し上げたこと、そして皆さまからいただいた言葉を胸に、これからの人生を歩いていきます。



山本 真紀さん

本日、晴れて成人式を迎えることができました。これもひとえに今まで育ててくれた両親をはじめ、私たちのために携わっていただいた皆さまのおかげだと思います。

多くの皆さまから激励の言葉をいただき、これからの未来に多くの期待を抱いた反面、たくさんの不安も感じています。

現在、私はホテルに勤めており、地域を問わずたくさんのお客さまと接する機会があります。一人ひとり感情の違う多くのお客さまと接する毎日が新鮮で勉強になっています。何かと接する・体験する・出会うということが、自分自身を成長させる大きな糧となることを実感しています。

この先、たくさんの失敗や困難があると思いますが、大人としての自覚と責任を持ち、その経験の一つ一つを人生の糧にしていきたいと思います。

また、常に感謝の気持ちを忘れず、これからも日々精進していきたいと思っています。

ここでなければ出会えなかった友人、恩師、郷土の人たちがいるこの松浦で生まれたことに感謝しています。

二十歳の抱負

